

第2期 堺市北区政策会議 第1回 会議録

日 時：令和5年11月9日（木）15時から16時40分まで

場 所：堺市北区役所3階302会議室

出席者：【構 成 員】（敬称略）天野隆次、魚谷守信、加我宏之、坂江祥衣、清水苗穂子、長尾永子、中田萌々果、野田誠子、羽根恵子、坊農豊彦、吉村登志子（以上11名出席）

【事 務 局】鈴木敏文（区長）、松尾恵子（副区長）、金本龍二（北保健福祉総合センター所長）、出野俊之（自治推進課長）、宮田大志（学校連携支援担当課長）、村田博史（子育て支援課長）、山本美佐子（北保健センター所長）、藤井裕子（北保健センター所次長）、羽野敏博（地域福祉課長）、樋口年秋（堺市社会福祉協議会北区事務所長）、林大輔（企画総務課長）、至田義朋（企画総務課課長補佐）、増川哲（企画総務課企画係長）、佐藤裕子（企画総務課）

会 議：公開会議

傍 聴：傍聴者数1人

1 開会

2 区長あいさつ

○鈴木区長 皆様、こんにちは。開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は本当にご多忙中にもかかわらず、このように皆さん全員が出席していただきまして、誠にありがとうございます。今回、第1期に継続しての構成員さん、並びに3名の新しい女性の構成員さんで構成されております。また、第2期におきましても、様々な視点からご意見いただけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

ご承知のとおり、この会議は、北区の実情並びに特性に応じた北区ならではの区行政を実施するために、構成員の皆様からご意見を頂戴する場となっています。一昨年8月に立ち上げまして、今年7月まで開催した第1期の会議のご議論を踏まえまして実施してきましたこれまでの取組につきまして、評価や改善のご意見をいただきつつ、今後の新たな展開につきましてご意見をいただきたいと思います。第2期につきましても、皆様のご意見を取り入れながら、北区みんなのまちづくりビジョンを具現化する取組を進めてまいります。区民の皆様とともに北区をつくる、北区みんなのまちづくりビジョンに掲げる将来像「いろんなたのしいでつながる街・北区」の実現につなげていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

また、このビジョンですけれども、令和3年3月に策定されたもので、令和8年3月までが計

画期間となっております。令和8年度以降の次期ビジョンにつきましても、この政策会議を通じまして、様々なご意見を伺いたいと思っております。

本日の会議では、メインのテーマとして「魅力発掘・発信・創出の取組をさらに推進できるように」という案件を用意しております。皆様方におかれましては、多様な見地から忌憚のないご意見、活発なご議論を頂戴したいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、第2期第1回北区政策会議に当たりまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 構成員紹介

○事務局（至田企画総務課課長補佐） 続きまして、第2期初めての会議となりますので、構成員の皆様のご紹介をさせていただきます。名簿順に構成員の皆様をお一人ずつご紹介させていただきます。構成員の皆様におかれましては、一言ずつご挨拶をお願いいたします。

北区自治連合協議会会長、天野構成員です。

○天野構成員 皆さん、こんにちは。第2期ということで、これからまた続きますので、大変でございますけども、ひとつ一緒になってやっていきましょう。お願いします。

○事務局（至田） NPO法人堺なんや衆監事、魚谷構成員です。

○魚谷構成員 皆さん、こんにちは。魚谷でございます。第1期に引き続きまして、第2期も務めさせていただき光栄に思っております。微力ですができるだけ区の政策に協力できればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○事務局（至田） 大阪公立大学農学部緑地環境科学科教授、加我構成員です。

○加我構成員 加我でございます。私も引き続きということになります。皆さんと楽しい議論ができることを楽しみにしています。よろしくお願いします。

○事務局（至田） 公募構成員の坂江構成員です。

○坂江構成員 坂江祥衣と申します。金岡南校区の子育てサークルで代表をさせていただいています。子育て中の母親という立場でお話できればいいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（至田） 阪南大学国際観光学部国際観光学科教授、清水構成員です。

○清水構成員 阪南大学の清水と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私も第1期に引き続き第2期、ご指名いただきまして、本当にありがとうございます。観光とかにぎわいの観点から皆様とお話できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（至田） 大阪公立大学ボランティア・市民活動センター学生スタッフ、中田構成員です。

○中田構成員 初めまして。大阪公立大学の1回生の中田萌々果と申します。生まれてからずっと堺市北区で育ったので、一市民として、また学生としての観点からお話しできたらと思います。よろしくお願いいたします。

- 事務局（至田） 家事代行・ベビーシッターサービス、スマートスマイル代表、子ども食堂つなぐば代表、長尾構成員です。
- 長尾構成員 私も前期から引き続きさせていただいて、ありがとうございます。堺市の子育て事業の産前産後の育児ヘルパーというのも請け負ってやらせていただいているので、子育て世帯の声を届けていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
- 事務局（至田） 公募構成員の野田構成員です。
- 野田構成員 野田です。区民評議会のときにお世話になりまして、久しぶりにこの場に来させてもらいました。区民評議会以降に4人めを出産して、今4人の子育てに奮闘しております。子育てしている者の代表として発言させていただきます。よろしくお願いいたします。
- 事務局（至田） 北花田庭園都市・グランアヴェニュー防災会副会長、羽根構成員です。
- 羽根構成員 第1期から引き続きお世話になります。よろしくお願いいたします。勉強させていただくことばかりで、できることは少ないのですが、防災について一生懸命していますので、その点でお役に立てたらと思っています。よろしくお願いいたします。
- 事務局（至田） 一般財団法人関西情報センター、社会ビジネス創出グループ課長・主任研究員、坊農構成員です。
- 坊農構成員 坊農と申します。私も第1期に引き続きさせていただきます。私も防災の仕事をずっとやっております、今、国の防災の仕事をちょっとやっております、堺市含めて全国の防災の普及啓発に努めております。よろしくお願いいたします。
- 事務局（至田） 社会福祉法人金岡会、幼保連携型認定こども園わんぱく保育園園長、吉村構成員です。
- 吉村構成員 こんにちは。吉村でございます。私も第1期に引き続き第2期も務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

4 事務局紹介

《事務局から事務局のメンバーについて紹介》

5 会議報告

《事務局から配布資料の確認、会議の公開についての説明、傍聴人数の報告》

6 議事

- 事務局（至田） 次に、案件1の座長及び構成員者の指名に移らせていただきます。座長の選出につきましては、堺市北区政策会議開催要綱第5条の規定によりまして、構成員の互選によって選出することとなっております。皆様、いかがでしょうか。
- 魚谷構成員 魚谷でございます。第1期でも座長を務めていただきました、学識経験がおありで大阪公立大学の教授でもおられます加我先生に、引き続き第2期も、ご面倒をおかけしますけれども、座長をお願いできないでしょうか。よろしくお願いいたします。
- 事務局（至田） 皆様、いかがでしょうか、よろしいでしょうか。（拍手）ありがとうございます

います。

それでは、加我座長、座長の席に移動をお願いいたします。以降の議事進行につきましては、加我座長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○加我座長 それでは、ただいま皆様のご推薦ということで、座長のほうに選出していただきました。改めまして、大阪公立大学の加我でございます。

第1期に引き続きということですので、新しく加わっていただいた皆様、構成員の方々も含めて、今期もどうぞよろしくお願いいたします。少しだけお時間いただきまして自己紹介を兼ねてお話をさせていただきたいと思っております。

私、大阪公立大学にありまして、皆様ご存じかと思っておりますが、元大阪府立大学でございます。この大阪公立大学になって2年めになりますが、中百舌鳥キャンパスのほうにいます。学部でいきますと農学部で、緑地環境科学科に属しています。専門は農学部の中で造園学、緑地計画学をしています。何をやっているかと言いますと、参考資料の「ふらっと北区」の6・7ページを見ていただきますと、「my KITAKU MAP」ということで、北区の様子が地図で表されていますが、この中で緑のかたまり、堺は歴史資産として古墳が現在では緑のかたまりになりますが、それに加えて、新たにつくってきた緑のかたまりということで、中央部に金岡公園、東のほうに大泉緑地といった大きい公園があり、また、皆さんの身近な生活の周りには小規模・中規模の公園が多数あるかと思っております。こういった公園の整備管理・運営ということを中心にやっていますが、緑地というものは緑で覆われた土地が全て対象ということで、都市農地を扱ったり、さらには皆様のお住まいの庭であったり、集合住宅の広場であったり、道路の街路樹であったり、都市にあり、住まいにあります緑全般を扱って公園学から展開していくということをやっています。近年では都市計画にアプローチしておりまして、道路を造って、建物を造って、その間の公園緑地の重要性みたいなことが、環境の時代ということで言われるようになりましたので、都市計画のほうにも関わるといことが多くなってきました。

そんなこともありまして、皆さんと一緒に議論をする中で緑の観点に加えまして、北区全体での暮らしということについても、都市計画や緑地計画の立場から、議論を一緒に深めていきたいと思っておりますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

あと、私、実は北区の出身で、この近くの新金岡で育ちました。その後、何回か外に出たり入ったりはしているのですが、大学も大阪府立大学で学び、その後何かの縁で大学に戻ることになりましたので、近くに住んでいまして、今は三国ヶ丘に住んでおりますので、出身でもあり、一人の住民でもあり、そんな立場からも皆さんと意見交換できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、議事のほうに進みたいと思っておりますが、案件の(1)で、座長に加えて職務代理者の指名というのが一つめでございます。堺市北区政策会議要綱の第5条第3項により、座長の職

務を代理する者を私、座長から予め指名することとなっております。私としましては、第1期においても構成員を務めていただき、また、北区自治連合協議会会長として長年にわたりご活躍いただき、地域に精通しておられます天野構成員にお願いしたいと思っておりますが、天野構成員、ご協力いただけますでしょうか。ありがとうございます。

では、天野構成員に構成員をお引き受けいただき、進めてまいりたいと思います。どうぞ、席のほうをお移りください。一言ご挨拶をいただきたいと思っております。

○天野構成員 今、ご紹介にあずかりました北区自治連合協議会の会長で頑張っています天野でございます。私の出身は、金岡南校区で、現在も金岡南に住んでいまして、金岡南校区の自治連合会会長でございます。それ以外の私の職務というのは、この北区から自治連合協議会の代表で堺市の自治連合協議会に出ていまして副会長兼書記という要職をいただいております。毎月会議が北区で2回、堺市で2回、地元の金岡南で2回と、少なくとも6回の会議に出ていまして、大変忙しくしています。もっと地元のことを頑張りたいと思っても、今の職務上なかなか難しい状況が続いている中で、先般、北区交流まつりがやっと終わりました、肩の荷が下りました。1年に1回の大きな行事を成功させるために必死になってやってきましたが、おかげさまでたくさんの方に来ていただき、天候も良く、いろんな意味で大成功だったと思っています。来年もまた趣向を凝らして、いろんなものをチャレンジしたいなと思っていますので、ぜひとも来年もご参加をいただきましたら嬉しく思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○加我座長 天野構成員、どうもありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

では、会議のほうを進めてまいります。次第のほうを見ていただきまして、案件の(2)、今後の北区政策会議のスケジュールについてでございます。これについて事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局（増川企画係長） 資料2をご参照ください。北区の方向性を示す「北区みんなのまちづくりビジョン」は、令和3年4月から令和8年3月までを計画期間とし、現在、折り返し地点を過ぎたところでございます。第1期の北区政策会議では、同ビジョンの基本方針に係る魅力・子育て・防災に関する施策についてご意見をいただいております。第1期のまとめ資料を参考資料1としてお配りしております。また、お時間のあるときにご参照ください。

第2期となる本会議では、第1期の会議を踏まえて実施してきました取組の振り返りをしながら、これに対する評価をいただくことで取組のブラッシュアップを図るとともに、取組の新たな展開についてもご意見をいただくことで、同ビジョンの一層の推進を図ってまいります。

次に、第2期では、ビジョン改定を見据えて、来年実施しますアンケート調査についてもご意見をお伺いしたいと思っております。

第2期会議のスケジュールにつきまして、事務局からの説明は以上となります。

○加我座長 ありがとうございます。

今期は第2期でございます。その中で、第3期に向けてということでございますが、現ビジョンの評価を実施していくことになってございますので、ご協力よろしくお願いいたします。

本日はございませんけども、次回は次期ビジョン改定に向けたアンケートの調査項目についてもご議論いただくことになります。よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、現ビジョンということで、魅力発掘・発信・創出の取組が今日も議題に上がってございますけども、忌憚のないご意見をいただければと思ひます。

では、(3)に進みたいと思ひます。魅力発掘・発信・創出をさらに推進できるようにということで、資料3について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(増川) 資料3をご参照ください。まず、北区の魅力発掘・発信・創出の核となる媒体としておりますInstagramのこれまでの取組についてご説明いたします。

Instagramでは、ハッシュタグ「北区みんなで写真日記」をつけた皆さんからのおすすめ投稿で北区の魅力画像を集め、その投稿に北区役所がコメントをつけて紹介することで、北区の魅力を発信してまいりました。当初、皆さんからの投稿画像に説明やエピソードを求めていましたが、気軽に投稿してもらえようと撮影場所だけを教えてもらうルールに改めました。また、飲食店舗や地域活動も含めて、幅広く居住魅力を紹介していく運用に見直しを行いました。運用の見直しにより投稿は活性化し、皆さんの投稿で成り立っている北区役所Instagramは、頻度を上げて発信できるようになりました。その結果、運用見直し後1年半で、フォロワー数は約2,000、投稿数は約4,000伸ばすことができました。今後も区民の皆さんとともに取り組む魅力発掘・発信の媒体としてInstagramを活用し、引き続き投稿数とフォロワー数の拡大を図り、情報収集力と発信力が高い媒体に成長させられるよう取り組んでまいります。

続きまして、資料4、魅力情報を展開する様々な手法をご参照ください。Instagramに加えまして、取材により収集した魅力情報をSNSやウェブだけでなく発信として、これまで広報紙、冊子、区内の各所へ展開してまいりました。まず、北区広報紙では、北区の全世帯、全事業所に配付する媒体の強みを活かせるように、昨年7月にリニューアルし、手にとって読んでもらえるものに見直しを行いました。親しみやすい題字デザインへの変更のほか、掲載内容を精査し、読み物としてのインタビュー記事をシリーズ掲載し、興味を持ってもらえるよう写真やイラストなどのビジュアルを積極的に掲載するにしております。インタビュー記事では、北区の魅力として、地域のために活動されている方たちを取り上げ、理解や共感を得て地域活動の輪を広げられるように活動への思いを中心に紹介しております。参考資料2として、これまで連載してきましたインタビュー記事をお配りしております。お時間のあるときにご覧いただけたらと思ひます。

次のページに移りまして、広報紙の掲載写真では、Instagramで収集した魅力写真を

活用することにより、紙面のデザイン性を高めると同時に、北区の魅力発信を行ってきました。参考資料3が魅力写真の掲載ページになっております。掲載の都度、投稿者に使用許可を取らせていただくのですが、どなたからも掲載を喜ぶお返事をいただいているところです。

続きまして、冊子への展開です。参考資料4をご参照ください。こちらがインスタグラムで収集した写真やおすすめ情報により、北区の魅力スポットを紹介した冊子になります。タイトルを「ふらっと北区」とし、道がフラットでお出かけしやすい北区でふらっと立ち寄れるスポットに行ってみませんかというコンセプトとしております。表紙には、ポップなイラストで北区にあふれる魅力を表現しております。2・3ページでは、四季折々の表情のある大泉緑地をはじめとした様々な公園、景色が楽しめるウォーキングやジョギングコース、4ページでは、子育て交流の場や子育て支援活動など、5ページでは、ふとん太鼓や古墳など歴史文化資産を紹介しております。6・7ページの見開きでは、北区をもっと好きになってもらえるようにと、それぞれのお気に入りスポットを書き留めていただける地図を掲載しております。地図では、冊子で紹介するスポットに加えまして、地産地消を推進する農産物直売所の位置も掲載するほか、まち巡りに便利なシェアサイクルなどを併せて紹介しております。8ページでは、食欲が刺激されるような目を引くグルメ写真を掲載するとともに、北区役所インスタグラムのPRを行っております。

続きまして、なかもず駅や区役所、商業施設などに設置されているデジタルサイネージへの展開です。インスタグラムで収集した魅力写真をつなぎ合わせて、北区の魅力PRショート動画を作成しております。地域愛を醸成するメッセージと併せて、街中のデジタルサイネージで発信してまいりました。ここで少しお時間をいただきまして、このPR動画を視聴していただきたいと思っております。窓側のデジタルサイネージにご注目ください。

《動画視聴》

○事務局（増川） ご視聴ありがとうございました。この作品はデジタルサイネージのほか、インスタグラムやYouTubeなどのSNSでも発信しまして、合計で5.2万回再生してもらうことができました。

続きまして、ポスターへの展開です。大阪メトロさんご協力の下、地下通路を活用させていただいたポスター展を開催しました。デジタルサイネージと違い、常時展示されていることで、彩り豊かなポスターの数々によりインパクト強くPRすることができ、開催中にはインスタグラムで通常時より多くのフォロワー増加がありました。また、投稿を促進するために企画したフォトコンテストでは、PRポスターを作成しまして、多くの方に見てもらえる場所への掲示についてたくさんのご協力をいただきました。

以上がこれまでの展開の振り返りとなります。

次に、事務局で考えています新たな展開2つをご紹介します。

1つめは、ホームページ上でのフォトアルバムの作成です。SNSの操作はハードルが高いけ

れど、ホームページの閲覧ならできるという方が一定数おられるのではないかと考えています。そんな方も含めて、気楽にきれいな画像を見ていただき、北区の魅力に触れてもらえるような画像閲覧ページをホームページに作成したいと思っています。これまで収集した多くの魅力写真を活用することで、テーマごとに楽しんでもらえるものが見せできると思っています。

2つめは、講座などリアルイベントの開催です。興味関心が高く深掘りできるテーマを取り上げ、イベントで学んだ魅力情報は、参加者のSNS投稿や区役所の発信により拡散することも狙いたいと思っています。テーマとして考えているのが、ふとん太鼓が奉納される百舌鳥八幡宮月見祭りです。地域愛の象徴的な伝統行事であり、インスタグラムの反響からも、多くの方が期待していることが分かります。長年受け継がれてきた歴史を持ち、深掘りできるネタが豊富なふとん太鼓に焦点を当てて講座を試みたいと考えております。

インスタグラムを活用した取組、また収集した魅力情報の様々な展開につきまして、事務局からの説明は以上となります。

○加我座長 ありがとうございます。まさに様々な展開手法についてご報告いただいたかと思っています。今後の展開ということも含めてご説明がありましたので、さらにより良いものになるように、皆さんから、見たことないよ、あんまり良くなかったみたいなことも含めて、ご評価、ご感想、改善点などを自由に発言してもらえればと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

○吉村構成員 ご説明ありがとうございます。結構目にしたなっていうのが感想です。やはり興味関心を持ってもらうには、何か視覚に訴える変化がやっぱり必要と感じました。ポスターなんかも、予算に限りがある中で、できるだけたくさんの方の目に触れていただけて、フォトコンテストのポスターが私は非常に目にとまりました。QRコードも付けてもらっているので、そこからどんなことをやっているのかなって、すぐにキャッチできる工夫がやはり大切と感じました。今の時代は、後にしようっていうのがなかなか難しくって、すぐ目にとまったり、すぐ手に入ったり、時間をかけずにその場でできるっていうことが必要と感じました。

それと、先ほど見せていただいた動画もやはり必要と感じました。その都度画面が変わるので、なかなか見たい場面が出てこないときもありますけれど、変化があることの重要性を感じました。私は、新金岡駅をよく使うのですが、あの長い通路を黙々と歩くよりは、壁にポスターが貼っていたり、中学生や高校生、地域の方々の作品なんか飾られていたりするのは変化があっていいなと感じていました。

○天野構成員 地下鉄の通路に貼っているポスターですけれども、ここを通る人はなかなかゆっくり見ることがないのではないかと思います。朝の通勤時間に追われています、帰ってくる時は疲れています。そしてお昼の時間帯は、乗降客は少ないと思うんです。そういうこ

とになりますと、この北区には大型店舗がたくさんあります。電気店もスーパーもあります。そういった場所への展開を考えていくと良いと思います。

それから、もう一つ。この魅力発信の冊子でございますが、確かに大泉緑地はとても安らげる場所と思いますが、北区の中には小さな公園もたくさんあります。皆さん小さな公園のほうが身近に感じておられると思いますので、近くの公園に目を向けることも検討してもらいたいと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

朝夕の駅では、確かに朝は一目散に、帰りは疲れて肩を落としているっていうのがありますが、駅が持っている長所と短所があらうかと思えますし、また商業施設でも買物を急いでいることもありますけども、少し余裕のある時に目に留めてもらうことが求められると思います。そういったことは「フレスポしんかな」や「イオンモール堺北花田」も含めていろんなところで掲示していただいたと思いますが、継続していくことが目に留めてもらう機会をつくっていくことにつながるかと思えます。

あと、「ふらっと北区」とは別に「北区公園ガイドマップ」というのがあり、子育ての視点からおすすめの公園を紹介されています。新金岡の近くですと「おさる公園」「おうま公園」「とら公園」、その他にもたくさん公園がありますし、正式名称は「スターハウスメモリアル広場」ですが「キッチン公園」と愛称で呼ばれる公園など、すぐそばの親しみのある公園も重要といえますか、これからまだまだ宣伝できる身近な場所もあらうかと思えます。ありがとうございます。

○魚谷構成員 私は最初デジタルサイネージに否定的だったんですが、結構かなり皆さん目を留めて見ておられました。ただし、一瞬なんですよね。あまり記憶に残りにくいと思いますので、ポスター、チラシの活用をもうちょっと考えて、いろんな場所にポスター貼ると同時に下にチラシを置けば、急ぐ方でもポスター見ながらチラシを持って帰って、ゆっくり見た時にそこに行きたくなると思えます。SNSとかいろんなデジタルを活用したものも大事ですけども、紙の媒体も大切にして、効果のある場所を選んで配置していただければ良いのではないかと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

他市他区では、結構デジタルへ移行していく局面があるんですが、冊子やポスターといった紙媒体も、予算の制限がある中でも大切に活用していただけたらと思います。私実はSNSを使えませんでして、インスタグラムはというと学生に見せてもらったり、ユーチューブは息子に見せてもらったりが実際のところですし、ホームページ上に作成するフォトアルバムの閲覧を楽しみにしています。それぞれでアクセスする媒体がいろいろあらうかと思えますので、各種の媒体を駆使していただければと思います。

○野田構成員 新金岡駅のポスターは確かに色がカラフルで、通るときにすごく目にぱっと飛

び込んできて、いいなと思って見ていました。そういうものやSNSを見ていいなと感じても、実際にそこへ行くかどうかが大切だと思うんですね。そこへ行って体験したり、おいしいものを食べたりがあって、それが回り回って北区への愛着につながっていくと思うので、足を運んでほしいと思います。せっかく「ふらっと北区」というマップも作られたことで、インスタグラムの投稿に上がっているような公園やお店、農家さんの直売所とか、いろんなところを巡るスタンプラリーをしたり、推奨のお散歩ルートを紹介したり、予定のないお休みの日に実際に行ってみたいと思えるような企画が生まれたら、区民の方にもっと足を運んでもらえるんじゃないかと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。

○清水構成員 私だけが多分堺市さんとあまり近くないというか、大学が松原市で、住んでいるのが大阪市になりますので、逆に外から見た視点でお話できると思うのですが、構成員をさせていただいて、特にこの魅力発信について、いろいろ最初から注目していましたが、本当に2年間すごく頑張ってくられたと思っています。これだけの成果が2年間で出せるって、本当に素晴らしいことです。なかなかここまでできないと心から思っています。特に良いのが、参加型になっていることだと思うんですね。私はSNSをやるタイプなので、インスタグラムをすぐフォローしたんですけど、当初100フォロワーぐらいからあんまり動いてなかったんですよ。今見ると2,250、20倍ですよ、すごいと思います。タグ付け投稿が4,300です。ここまで成長したことが、まず素晴らしいと思います。フォトコンテストの投稿も、1回目が600で、2回目が1,200で、普通最初は花火を上げるみたいに頑張れて、2回目ちょっと落ちることも多いと思うんですけど、2倍になっていることもすごいと思います。そしてやっぱり結局住民の方がすごく参加されているってことですよ。この2年間、皆さんのいろんな努力で多くの方に興味を持ってもらったことは間違いないと思うので、本当に評価されてほしいとすごく思っています。この魅力発信の取組に明るくて元気で活気があるって印象をすごく受けています。それは安心とか、また安全につながるし、引いては移住にもつながると思うんですね。個々に直接コミュニケーションを取らなくても、こういった媒体を通しながら参加できるので、住民同士が間接的にコミュニケーションが取れることになっていると思います。褒めてばかりでおかしいと思われるかも分かりませんが、素晴らしい取組だと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

○長尾構成員 私もこの「ふらっと北区」というのもすごくかわいくって、見やすいし、インスタグラムも初め立ち上げられたときから、途中、試行錯誤されながら飲食店も取り上げられたように、いろいろと努力されているなっていうのをすごく感心して見ていました。ひとつ思ったのが、子育て世帯がお店に行ってみたいとなったときに、子どもが何人かいたらやっぱり車で移動するご家庭も多いと思うので、インスタグラムでお店の紹介にしても、駐

車場があるかないかっていう情報があればいいと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。

○坊農構成員 大阪メトロなかもず駅でずっと何本もの柱にあるデジタルサイネージ、すごく目を引くと思いました。私、豊中に住んでおりました、通勤で大阪駅を利用しているんですけど、大阪駅の改札ちょうど出たところに、すごいもうこれでもかっていうぐらい柱にバンバンって城崎温泉などの宣伝が出ていて、いつも見ていたら行きたくなくなるんですよ。インスタグラムやホームページで北区の皆さんに周知されてきて、今後もう少し踏み込んで外にも発信をする。お金が要ることとは思いますが、例えば、北区の魅力を難波の駅で発信すれば、外の皆さんにも、行ってみようとか、どんなところかなって興味を引くことができる。それを突き詰めて住みたくなるとなれば良いのかなと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。

評価のご意見があり、すごく魅力が伝わってきたということですが、実は私、ポスターの掲示があったときになかもず駅を利用していたのですが、区役所の方から説明をお聞きしたときに「えっ、ポスター貼ってたの」と言ったのが正直なところで気づいていませんでした。先ほど天野さんから出たように、多分行きは急いでいて、帰りは疲れていたのかもしれない。次のチャンスの時にちゃんと見たいと思いますが、続けていただくことが、北区に行ってみたい、暮らしてみたいということ、暮らしている方々の新たな魅力発見にもつながると思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

次の案件の民間連携の取組も、魅力発掘・発信・創出をさらに推進できるようにの話につながり、様々な手法の一つとしても見ることもできようかと思ひます。ここで資料5もご説明いたひいて、もう少し意見交換をしたいと思ひますので、(3)の2の民間連携の取組について、事務局からご説明お願ひします。

○事務局(増川) それでは、資料5をご参照ください。このビジョンに掲げる将来像「いろんなたのしいでつながる街・北区」の実現に向けまして、魅力の発掘・発信の参加者をさらに増やすため、民間企業・団体などを巻き込み、街が一体となって取り組めるよう働きかけたいと思ひています。北区役所と民間企業・団体にとって、互いにメリットのあるウィン・ウィンの連携により「たのしい」でつながる輪を広げられるよう取り組んでまいります。

まず、連携できそうな民間企業・団体がどういったものかを考えるに当たり、互いのメリットを整理してみました。

民間企業・団体のメリットとしては、投稿で紹介される店舗・団体はPRになる。素敵な写真を活用するポスターなどの掲示は景観を良くする。地域取組への協賛により地域住民に身近に感じてもらえる。

区役所のメリットとしては、情報発信力が高まる。広告料や景品代など経費をかけずに発信できる。企業(店舗)を北区の魅力として紹介できる。北区一丸となった取組の機運が醸

成される。以上、これらのそれぞれのメリットを互いに享受できる取組が実現可能性のあるものとして、民間企業・団体に連携の打診をしてみたいと考えております。

それでは、これまで実現した取組の振り返りを行います。

1つめは、フォトコンテストの景品の提供です。景品について区役所が各種媒体で広報を行ったり、受賞者の方に景品利用時の写真を投稿してもらったりと、店舗のPRが期待できるとして、北区内の店舗からの景品提供を募集してきました。これまで大泉緑地のバーベキュー施設や中央環状線沿いの地元野菜が楽しめるカフェ&マルシェなどからご提供をいただくことができました。

2つめは、魅力発信場所の提供です。先ほど展開手法でご説明しましたとおり、魅力情報をデジタルサイネージやポスターへ展開するに当たり、鉄道各駅では広告枠を有料販売される中で、無料で場所をご提供いただいたり、商業施設では、デジタルサイネージを活用させていただいたり、地域住民が主体となった地域活性の取組にご賛同いただき、無料でご協力をいただくことができました。

続きまして、事務局で考えています新たな民間連携の取組についてご紹介いたします。

まず、新たな情報発信場所の提供です。効果的な発信場所として考えられる待合スペースを持つ病院や銀行などに地元の綺麗な風景などの発信についてご協力を依頼したいと考えています。区役所でも証明書発行や保険・年金などの待合スペースにありますデジタルサイネージの活用を考えています。

続きまして、InstagramのQRコードを掲載したポップやステッカーの作成です。北区役所アカウントでいいねが多くつく発信が飲食店舗の紹介になります。人気の投稿がさらに促進できるように、店舗にとってもPRにつながることをご説明しながら、飲食店舗での掲示にご協力を求めています。

続きまして、Instagramでフォロワーの多い地元企業などからの発信です。資料にあります画像は、先ほどフォトコンテストの景品提供でご紹介したカフェ&マルシェからの投稿になります。この店舗は、大阪南部合同青果内にありまして、市場が目利きした旬の野菜、果物のメニューが人気で、現在5,900以上のフォロワーをお持ちです。人気のある店舗側からも北区役所が紹介していることを発信していただき、フォロワー拡大につなげることができました。多くのフォロワーを持つアカウントから北区役所アカウントを紹介していただけるよう打診を行ってまいります。

次に、公園施設管理者との連携です。公園は豊かな緑の景観をつくるだけでなく、健康増進や子育てなどレクリエーションの場であり、豊かな地域をつくる交流空間です。この多面的な魅力スポットについて、情報をお持ちの公園管理者から最新情報の提供を受け、北区役所アカウントで発信してみたいと考えています。

最後に、高校、大学との連携です。Instagramの利用率は若年層になるにつれて高い

傾向があるにもかかわらず、北区役所アカウントでは24歳以下のフォロワーが6.2%、約140人程度にとどまっている状況です。高校、大学でのPRにより、若年層フォロワーの拡大を図るとともに、スマホ・SNSを使いこなす世代ならではの自由な投稿を促進したいと思っています。

民間連携の取組につきまして、事務局からの説明は以上となります。

○加我座長 ありがとうございます。

これも含めて、北区の魅力発掘・発信・創出をさらに推進するためにと考えてございますので、今までの取組の振り返りと今後の展開について、忌憚のない評価とアイデアをいただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。いかがでしょうか。

○吉村構成員 質問ですが、フォトコンテスト3回めはありますか。1回めのポスターもすごくいいのですが、2回めのポスターが躍動的で動きがあって更にいいなって、ぱっと見たときに思いました。掲載写真もアップされたものを活用されていると思うんですけど、撮影する側の視点もフォトコンテストとなると何か変わってきているのかなと感じました。せっかくリニューアルされて、もっと皆さんに興味、関心を持たれているので、先ほど座長もおっしゃったように、続きがあってほしいと思うんです。野田構成員さんもおっしゃっていたように、点があっても、それを線でつなぐことが大切なので、新たな形というよりも継続してもらって線につながっていくような企画があったら、更に多くの皆さんに興味を持ってもらえるのではないかと思います。それともう一つ質問ですが、ポスターに限られたところになってしまうのは、予算の関係で仕方ないと思うのですが、このポスター、ぜひ貼らせてほしいというときにはどこに行けばいいのでしょうか。

○加我座長 ありがとうございます。

では、第3回は企画していますか。意気込みだけでも聞いておきましょうかということで、よろしくお願いします。

○事務局（増川） ぜひ第3回めもやりたいと思っています。といたしますのも、非常に効果が出ておりまして、投稿数の拡大を図る目的でフォトコンテストを実施しているんですが、通常時ですと月200件程度の投稿ですが、その3倍以上の投稿が集まっています。投稿が増えて多くの魅力情報が集まることで、また新たなポスターや動画などが作れて、次の魅力発信につながっていきますので、このサイクルを続けていきたいと思っています。

フォトコンテストのポスターですけれども、北区役所から企業・団体さんに依頼をかけ、多くのご協力をいただくことができました。ちょっと広報が甘かったんですけれども、実は掲示場所の募集もさせていただいておりました。4か所のご応募がありまして、資料5の5ページにポスター掲示の写真を入れているんですけども、まぐろパークさんの横にあります画像がシェアハウスの掲示板を活用させていただいたものでして、これは募集でシェアハウスさんから貼らせてほしいということでご応募があったものです。その上の写真は、百舌鳥八幡

宮の月見祭りのときに、目隠しの板をたくさん設けるということで、そこに掲示のご協力をいただいたものです。

今後もフォトコンテストを継続したいと思いますし、ポスターの掲示の募集もさせていただきたいと思っております。貼りたいという方がいらしたら、企画総務課までご連絡いただけたらと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

このフォトコンテストでは、賞品も現在募集中で、素敵な賞品を通じて北区を知るきっかけにもなると思いますので、継続していくに当たって皆様のほうで賞品の提供についてもお声がけ、もしくはご協力をどうぞよろしくお願いいたします。北区フォトコンの副賞でいただいたチケットを使ってお野菜もりもり食べてきましたというコメントが資料で出ているんですが、この賞品を通じて、さらに魅力が伝わって、広がっていることが非常に素敵だなと思いましたので、続けていただければと思います。

○天野構成員 フォトコンテストのことですが、5年ぐらい前と思うんですけども、コロナの前までは、北区役所のエントランスで投稿された写真を展示していました。写真の展示だけでなく、撮影者のお名前と写真の簡単な説明も載せていました。そして、区長と私が審査員になりまして、1等から佳作まで約10名ぐらいを選びまして表彰式もしていました。そうすると、入賞者が感嘆をしてくれましてね、その人がまた友達に輪を広げてくれました。そういった取組が、いつの間にか消えてしまいました。景品も良いですが、やっぱり自尊心をくすぐることも必要と思います。過去やっていたことで良かった部分について取り組んでもらうようにぜひとも検討してください。

○加我座長 ありがとうございます。

過去にやっていたことの良さということもまた検証していただければと思います。ありがとうございます。

○清水構成員 民間連携の企業ですが、どうやって探しておられるのかなと思いました。北区が本社の企業とか、北区だけでやっておられる企業とか、地元の企業が結構あると思います。何か関係を持っているとか、知っているところだったら、声をかけることもできるのかなと思うので、ちょっとまた構成員の皆さんの力を借りて声をかけていくってことも、地道になるかも分かりませんが、区役所さんだけが動くよりはいいのかなと思うので、もしピックアップができていてリストが共有できるのであれば協力し合えるかなと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。ここのメンバーもありますし、各種団体にお声がけをしてということもあろうかと思えます。

○吉村構成員 私も同意見です。このフォトコンテストとかとは全然違うのですが、例えば社協さんでは、子ども食堂関係で非常に企業さんの協力があって、そういった企業さんに、お声かけたら協力してくれるのではないかと感じました。いつもされている子ども食堂の円卓

会議は堺市全体の会議ですけれど、非常にたくさんの企業さんが参加されていて、北区の企業でないといけないということもないと思うので、そういった機会では何かちょっとパイプが作れるといいなと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。区役所メンバーだけで抱え込むことはないですよという応援だと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

○事務局（林企画総務課長） 構成員の皆さんからのご協力のお声、本当にありがたく思っております。この会議の場だけでなく構いませんので、また、ご紹介いただけそうな連携先がありましたら、お知恵をお貸しいただけるとありがたいです。北区の魅力を発信していくのに、構成員の皆さんと一緒にやっていけたらと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

○加我座長 ありがとうございます。

高校、大学との連携もありますので、中田さん、もうそろそろ緊張も解けたかな。大学を背負う必要は全くないので、一区民として感じていることをお話してください。

○中田構成員 魅力発信のためのフォトコンテストは、駅とかお店とかで見かけることもあって、きれいな町の風景が伝わってすごくいいと思います。個人的に、最近大学に入ってから、北区の地域の農家さんのところに農業体験をしに行く機会がありました。その時にちょっと農園に入ったら農風景がばあって広がっていて、それがすごく綺麗で、こんなところが身近にあったんだってすごく感動したので、そういう風景も残していけるといいと思います。

あと、インスタグラムの若い世代のフォロワー拡大で、フォロワーの多い企業から発信してもらってというのはすごくいいと思って、若者に人気のある飲食店とか、大学付近の飲食店とかだったら、若者のフォロワーも多いと思うので、そういうところに紹介してもらったら、若者の目にも映って、知ってもらえるきっかけになるのではないかと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

堺でいきますと、南区に行くと丘陵があって、田畑が広がるということをイメージされることが多いかと思いますが、北区も決して負けてなくて、長池、菅池、森池を中心とする金岡の地区もありますし、さらに北八下、八下のところもあります。私、最初に公園で造園学という話の中で、緑で覆われた空間と言いましたが、農地もその一つでそこに行けば非常に開放的な風景が展開しており、そこで我々、食の恵みも得ているということもあるのでぜひとも、中田さんにご紹介いただいたり、みんなで広めていってもらえればと思います。本当に重要な魅力の一つだと思います。

○坂江構成員 フォトコンテストがすごくいいと思っています。ポスターに第1回は豪華賞品が当たるという具体的なメリットをどんと見せて、第2回はそれを書いてないにも関わらず、応募作品がすごく増えています。ということは、フォトコンテストに参加すること自体が、皆さんの喜び、楽しみになっていて、素晴らしいことだなと思います。楽しいことをやって、

何か得なこともちょっとあるかもみたいな、そういうわくわくする気持ちがすごく大事ななと思いました。

フォトアルバムというアイデアで、SNSは使ってないけれどもホームページは閲覧している方というのはたくさんいらっしゃると思うんですけども、綺麗だなと思ってそのまま閉じるみたいな感じで終わってしまうのはもったいないと思います。SNSで収集した魅力写真の使用許可を撮影者に取って、皆さん掲載を喜んでくださっているというようなお話が先ほどありましたので、皆さんが撮られた素晴らしい写真をもうちょっとオープンな形でデータとしてウェブ公開できないかなと思いました。もちろん撮影者の方に許可を取って、例えばクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの著作権ルールや非営利の利用に限るみたいな何らかのルールを表示したうえで、素材として素晴らしい写真をダウンロードできるようにすると便利と思いました。北区に住んでいろんな活動をなさっている方がいらっしゃると思いますが、その活動をPRする際に、ちょっとしたチラシとか、SNSに載せる画像を作りたいという時に、お祭り、古墳、働く人たち、公園みたいな形で、区内のとっても素敵な写真が整理されて、適切な形で行政のホームページからダウンロードできるというのは、北区に住んでらして何かやりたいと思っている人にとって、とても意味があることかなと思いました。

あとは、講座などリアルイベントの開催というところですけども、開催後は各種媒体で講座内容を発信とあるのですが、現状、ユーチューブでは、先ほど見せていただいたショート動画しか載せてなかったと思うんですね。せっかく講座をしたならば、その後、ちょっと権利が難しいかもしれないのですが、全編ユーチューブで見られるようにしておくの良いと思いました。資料があればそれもPDFデータにして、ウェブ上で連続北区民講座みたいな形で蓄積していったら、そのホームページ上には有用な情報があるという感じになってもらえると良いと思います。堺市北区には特に関心がないけれど、ふとん太鼓は他県でもあるので、ふとん太鼓には関心があるという方がいらっしゃると思います。他にも有形文化財の是枝近有邸であれば、堺市北区のことはよく分からないけれども、近代建築には興味があるという方がご覧になるだろうし、とにかく今ある情報をウェブ上に出していくことに意味があるのではないかと思います。堺市北区のホームページは有用な情報を発信してくれるというイメージがついていくと良いと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。情報をどんどん配信すること、ストックして活用していくことご検討いただければと思います。

○羽根構成員 インスタグラムを見ていると、写真がどんどんレベルアップしていったら、こんな身近なところが、こんな綺麗に撮れるんだと感心して、私たち凡人にとってはちょっとハードルが高いようなところもあるんですけど、若者の方が参加してもらうためには、先ほどもおっしゃっていたように、学生さんたちがよく行かれるお店とかを特集して発信したり、何かこれを見せたらちょっと5%オフとか、そういう企画をお店と協力してできたら、もう

ちょっと若い層に広がるかなと思いました。

○加我座長 ありがとうございます。

インスタグラムの写真のレベルアップであったりとか、投稿数が多くなっているというご報告もございましたけど、この2年の間で大きく充実したと思います。

実は、私の研究室で、インスタグラムを通して人々がどのように町の風景を見ているかということを研究したいという学生がいました。その学生は北区出身でしたので、北区でインスタグラムが立ち上がっているからと見てみたら十数件しかなかったのかな。それで対象を大阪市内の扇町公園に変更にしたことがありました。当時のことを思い出して、今だったら北区のインスタグラムを研究対象にできたのにと、先日2人で話していたところでございます。その学生は現在、子どもの遊びから地域の緑を見ようということで、北区内の子ども食堂の方々にご協力いただいて、子ども食堂で子どもたちにインタビュー調査をさせてもらっているのですが、また、結果が出ましたら、子どもの視点から見た北区の緑みたいなことについてご報告できればと思っています。

あともう一つ、私の得意分野でいきますと、公園施設管理者との連携で、大泉緑地指定管理者、金岡公園指定管理者というのがございます。私の個人的なつながりということで行きますと、大泉緑地の管理者の方々とはよくご一緒させてもらっています。いろんなノウハウを持っているといったご説明がありましたが、決してそうではなくて、公園管理者のほう地域との関わりを持ちたいと、いろいろアイデアを管理者のほうで求めている局面も多数ありますので、ぜひとも情報交換をすることで、それぞれウィン・ウインの関係になろうかと思っておりますので、取り組んでいただければと。場合によってはご紹介もできると思っておりますので、お声がけいただければと思います。

では、ほかに思いついたこととかはございますでしょうか。

○天野構成員 辛口なことばかりを言って申し訳ないのですけどね、民間との協力体制、企画総務課だけではできないと思います。なぜ連合会の会長にお願いしないのですか。この北区には、15人いるんですよ。その方たちは地元のことを良く理解しています。地元企業のこともしっかり分かっているはずですよ。先ほど申し上げた我々北区の交流祭りも、その15人の連合会長が企業広告を取ってきているんですよ。今年は85万円分取りました。なぜそういうところをうまく使わないのですか。例えば私の校区で言いますとね、ダイキンがあります。皆さんが入っていても前向きに検討しておくで終わってしまうかもしれませんが、地域の関係性のある私が言えば違うと思います。そういう全ての力をうまく利用してやれば、簡単にできることがあります。自治連合会を頼むということを考えてみてください。定例会で私言っておきますから。

○加我座長 ありがとうございます。

先ほどもございましたけれども、各種団体、自治会、連合協議会ということが一番力強い

支援者、応援者になろうかと思えます。区役所は民間企業・団体のメリット、区役所のメリットということ整理して、実際にどう動かしていくのか、誰と協力すればいいのかを考えて声かけをするっていうことが一番の仕事で、団体や企業を呼んでくるということはもしかしたら区役所の仕事ではないかもしれません。今日は応援メッセージをいっぱいもらったと思えますので、どうぞ支援者と上手に連携してやっていただければと思います。これ実は、公園でも同じようなことがよく起こってまして、公園は学習の場であり、運動の場であり、健康の場であり、自然の場でもあると。それを全部公園管理者が一手に引き受けようというふうに今までしてきたんですけども、そんなことはない、学習は教育委員会に頼めばいいし、それから健康長寿は社会福祉に頼んだらいいということで、私が今取り組んでることは、公園の建設でお金を使わずに、いかに教育委員会、社会福祉のお金を使うかということで、いろんな仕掛けをやってございます。それと同じで、いろんなところにいっぱいネタが転がっていると思えますので、得意分野の組織や団体をふんだんに活用していただければと思います。

○魚谷構成員 高校、大学との連携でちょっとお聞きしたいのは、残念ながら北区では、大学は大阪公立大学さんだけですか。

○加我座長 大阪公立大学は中区になり、北区で言うとなかったですね。

○魚谷構成員 それから、高校は金岡高校だけですよ。北区だけですと限られてしまいますので近隣の高校、大学への声かけも必要かなと思います。あと、新金岡駅の地下道で貼っていた金岡高校の学生さんたちによる交通安全運動のいろんな標語を見て非常にいいと思いました。年代の難しさもあると思いますが、中学生あるいは小学生にも声をかけて、できる範囲で若い方に活動の発信をお願いすれば、北区の魅力発信が広がるのではないかと思います。

それから、リアルイベントですが、私たちもコロナの前に、NPO法人で毎年ウォーキングをやっていました。北区には古墳や神社、あるいはグルメやお菓子などいろんな店がありますので、それらの様々なスポットをポイントポイントにして巡る半日程度のイベントをしていました。北区にはいろんなボランティア団体がたくさんあります。そういう団体を活用したウォーキングイベントであれば、あまりお金もかからずにできるのではないかと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

○野田構成員 天野さんが先ほどおっしゃられていた、ここでされていた写真展のお話に通じるんですけど、フォトコンテスト自体はすごくいい取組だと思うんですけど、気になるのが、どうしてもInstagramを利用できる人に限られてしまう。ホームページ上のフォトアルバムも、SNSされてない方に向けていいことなんですけど、どちらもその媒体を使えない方を分断してしまっていると思うんですね。Instagramを知らない人は、何それって感じで終わってしまうので、次やられるとしたら、区役所の写真展でもフォトコンテストを同時開催して、若い方と高齢の方、世代間で交流もできるように、区役所の写真展の中で、インスタ

グラムの投稿も展示したり、逆にインスタグラムでは、写真展の応募を区役所から投稿してあげたりする。SNSをもっと活用すべきという一方で、ご高齢の方にとっては回覧板や掲示板が大事ということもあると思うんですね。いつも世代によって分断が起こりがちなので、間に入ってもらえるような取組を考えてもらえたら、もっと良くなるのではないかと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

様々な手法のところで、アナログからデジタルまでということで、つながっていくと思いますので、ぜひともご検討いただければと思います。どうもありがとうございました。

○坊農構成員 民間連携の取組で、ちょっと考えたんですが、身近なところでコンビニエンスストアにレジがありますよね。レジのディスプレイに北区役所公式インスタのQRコードを出して読み取ってくださいますかという感じで、いろいろな人に見てもらって集客をするというようなことがあってもいいのかなと思います。

○加我座長 ありがとうございます。

○坂江構成員 この北区のフォトコンテストは、北区に用事があったり、北区に住んでいたりする人が北区の魅力を発信するということですが、先ほど野田さんがフォトコンテストで世代をつなぐというお話をなさっていて思いつきですけど、外の世界に広げていくこともできるのではないかと思います。北区にあまりないかもしれないですが、例えば手拭い屋さんが協力してくれるのであれば、手拭いのある風景写真コンテストということで、テーマとしているその手拭いがあれば、北区でなくてもどこからでも応募ができるものにする。そうすれば、フォトコンテストの情報にアンテナを張って応募してくれる全国の写真が趣味の方に、堺市北区という場所に興味を持ってもらえる機会をつくることができ、フォトコンテストのやり方によっては北区以外の広がりもできるのではないかと思います。

○加我座長 ありがとうございます。アイデアは尽きないかもしれません。今回は魅力発掘・発信・創出について多くのご意見をいただきました。次回以降は子どもの生きる力を育む取組であったり、子育ての孤立を防ぐ地域とのつながりの醸成であったり、現役世代の防災意識を高める啓発などについても皆さんにご意見をいただくこととなります。今日いただいたように、それぞれについていろんなアイデアやご意見、私たちに任せてくださいというようなこともあるかと思いますので、少し頭の片隅に北区政策会議のテーマを置いていただいて、次回以降のところでも、魅力発掘・発信・創出についても思いついた場合にはお寄せいただきますようにご協力いただければと思ってございます。

では、大体時間も参りましたので、この辺にしたいと思います。また次回以降、ご意見を、アイデアをいただきたいと思います。

本日いただいたいろんな意見を変にまとめることはしないほうがいいと思いますけれども、一番共有できたことは、区ができること、我々ができること、区民ができること、それぞれ

の各団体が持っている長所があってということだと思います。抱え込まずにしてくださいということが出てきたことだと思いますので、大いにご活用いただいて、それは私たちの暮らしに、区民の方々の暮らしにつながっていき、引き続き魅力発掘・発信・創出にも取り組めるわけですので、区役所と共に、また皆さんもご協力よろしく願いいたします。

では、本日の議題はこれで全てでございますので、事務局のほうに進行をお返ししたいと思います。ありがとうございました。

○事務局（至田） 構成員の皆様、本日はありがとうございました。本日いただきましたご意見を参考に、また区民の皆さん、地元企業、団体の皆さんとともに取り組む北区の魅力発掘・発信・創出を進めてまいります。次回につきましては、子育て、防災の取組の振り返り、次期ビジョン改定に向けたアンケートの調査事項についてご意見をいただきたいと考えております。令和6年5月頃に開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の北区政策会議を終了させていただきます。ありがとうございました。